

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

日本臨床外科学会国内外科研修を経験して

宮崎大学医学部外科学講座

原 大介

この度、日本臨床外科学会国内外科研修で2025年11月17日から12月12日までの4週間、がん研有明病院大腸外科にて国内留学をさせていただきました。

私は下部消化管外科を志望し、現在消化器外科分野で修練を行っております。今回の国内留学先を検討する中で、まずは高難度症例を見学して骨盤内解剖に対する理解を深めたいと感じました。ハイボリウムセンターを見学して症例数が多い環境で、手術手技だけでなく安全かつ質の高い手術をどのようなシステムで実践しているのか学びたいと思いました。さらに、同世代のレジデントがどのように研鑽を積み、技術や知識を高めているかを見てみたいと感じました。高度かつ活発な診療環境の中で研修したいと考え、がん研有明病院での国内留学を志望いたしました。

がん研有明病院は大腸癌診療におけるハイボリウムセンターであり、豊富な症例数があり全国から集まった多数のレジデントが在籍しています。大腸外科にはスタッフ6名、レジデント11名の計17名が在籍しており、手術は主にスタッフ1名とレジデント2名の体制で行われていました。レジデントの先生の中には、技術認定医資格を有する先生や、技術認定のビデオ撮影を終えた先生、認定取得に向け研鑽中の先生がおられました。豊富な症例数から経験に応じてそれぞれの先生が目標を持ち修練されており、とても充実した教育環境であると感じました。

研修期間中は手術見学を中心に行いました。大腸外科の手術は毎日2-3列あり、年間症例数は1,000件を超えていました。直腸癌に対しては主にロボット支援下手術、結腸癌に対しては主に腹腔鏡手術が行われていました。定型的な大腸手術に加え、括約筋間直腸切除術 (ISR)、局所再発に対する骨盤内臓全摘術 (TPE)、精嚢浸潤例に対する前立腺合併切除症例など、高難度症例を短期間で多数見学することができました。高難度症例であっても骨盤内解剖の深い理解を基に、あらゆるアプローチの中から瞬時に判断し的確な剥離層で切除を完遂する手術を見ることができたことは、大変勉強になりました。また、da Vinci SPによる手術も見学することができ、新たなデバイスによる手術を経験できる貴重な機会となりました。さらに、レジデントの先生も腹腔鏡だけでなくロボット手術を執刀されており、自身と近い世代の先生が精緻な手術を行う姿に刺激を受けました。

週2回開催されている消化器外科カンファレンスでは、食道外科・胃外科・大腸外科・肝胆膵外科の術前症例や緊急症例の提示がされていました。スライド1枚に要点が簡潔にまとめられ、英語によるプレゼンテーションが行われていました。各科のエキスパートの先生による活発なディスカッションが行われており、それぞれの症例に対して論文やがん研有明病院のデータを根拠とした治療方針の検討が行われており、非常に感銘を受けました。また、週1回の大腸カンファレンスでは、大腸癌に関わる科の先生が会して症例ごとの治療方針を詳細に検討されていました。臨床研究に関わる症例に関してはWebカンファレンスでの議論が行われていました。術前治療症例のc-CR, near-CR, non-CRの判断を内視鏡医・化学療法医とのディスカッションのもとと判定しており施設内の密な連携を感じました。

本研修では最先端の技術のみならず、手技の定型化と詳細な解剖の理解によって精緻で質が高く、かつ手術時間の短い手術が実施されていることを改めて実感いたしました。そして、自身の術野解剖の認識や鉗子操作に関して、より高い精度が必要であることをこれまで以上に再認識し、今後の修練で意識

する必要があることを感じました。

また、同世代の大腸外科を志すレジデントの先生が切磋琢磨し、教え合いながら手術に取り組む姿や様々な出身大学の先生方と交流させていただいたことは、これまで宮崎県内のみでしか業務経験がない自分にとって良い刺激となりました。そして自身もこれからより一層精進しなければならないことを強く感じました。

本研修は私にとって極めて有意義な経験となりました。今回得られた学びを今後の臨床に活かせるように引き続き努力してまいります。最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった日本臨床外科学会、国内外科研修委員会、学会関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。また、研修をご快諾頂き充実した研修を送らせていただきましたがん研有明病院の秋吉高志先生、スタッフの皆様、温かく迎えてくださり様々なお話を頂き、食事会にも誘っていただきましたレジデントの先生に感謝を厚く御礼申し上げます。また、本研修をご推薦いただきました宮崎大学医学部附属病院外科学講座の七島篤志教授、古川貢之教授、快く送り出してくださいました当教室のスタッフの皆様に、この場を借りて感謝を申し上げます。